

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
・区役所 中原区役所5F なかはらっぱ 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
・会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
・会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
・会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
・郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617
●元住吉西口(ブレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)
・果物 フルッチョ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
・介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉G Sビル2F Tel.044-430-6963
・カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
・花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
・鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
・ヘアサロン キャメル ヘアデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
・カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
・コーヒー専門 MUI(旧もえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
・カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
・接骨院 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
・コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
・時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
・広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
・ヘアサロン 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
・理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273
●元住吉東口(オズ商店街通り)
・カフェ cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
・介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
・調剤薬局 網島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
・飲み喰い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
・古本・CD 凸つと凹つと 中原区木月2-10-3
・イタリア料理 自在屋 中原区木月4丁目10-6 Tel.044-433-5644
・STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
・お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
・Sステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
・サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
・鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
●元住吉近郊
・喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688
●武蔵小杉近郊
・喫茶店 Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
・紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
・カフェ フォレストコーヒー 小杉サイ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822
●東横線沿線
・調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
・調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
・写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
・カフェレストラン カンファー・ツリー 横浜市中区海岸通1-1 横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 発行人: 塚田親一 発行音楽好きな友の会 〒1100304 川崎市中原区井田中ノ町33-7 森アルケファクトリー内 TEL 044-797-2430 2018-1-18-800 PrintingRk

M MAGAZINE January

●Motosumiyoshi ●Music ●Mate ●Meet ●Memories



http://ontomo.jp/
元住吉の気軽な音楽会
後援: 「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公益財団法人 川崎市国際交流協会 人形劇団ひとみ座 /rk-factory

2018 1月号

1月7日(日) 13:30~ 1月21日(日) 13:30~ 音友レコード倶楽部 場所イダカフェ
1月16日(火) 12:10~ ランチタイム ロビーコンサート 場所川崎市生涯学習プラザ
1月29日(月) 13:50~ ママのおひざで聴く ヴァイオリンコンサート 場所イダカフェ
Joe Pass / ジョー・パス (1929-1994) : アメリカ合衆国のジャズミュージシャン、ギタリスト。我流ではあるが、卓越した超絶技巧を誇り後進のギタリストに多大な影響を与えている。オスカー・ピーターソンやエラ・フィッツジェラルドといった大御所との録音も多い。ニュージャージー州生まれ。9歳でギターを始め、14歳でバンド活動を開始。その後麻薬中毒で苦しみ、シナノンという更生施設に入って立ち直り、1962年にアルバム「サウンド・オブ・シナノン」発表。1965年にはジャンゴ・ラインハルトに捧げたアルバム「フォー・ジャンゴ」を制作し、話題となる。1973年発表のアルバム「ヴァーチュオーズ」は、ギター一本だけで制作され、ジャズにおけるソロ・ギターの可能性を追究した作品として高く評価された。1994年、肝臓癌で他界。(写真・文ともにウィキペディアより)

田島華乃のお知らせ
ママのおひざで聴く ヴァイオリンコンサート 1月29日(月)「イダカフェ」
コンサート終了後の15:00~15:30~ イダカフェで個人レッスンをします。(限定2名)
★1人1台レンタル楽器を用意します。
★お子さん、ママさん どちらでもOK
ヴァイオリニストの田島華乃です。
毎月一回開催してきた親子コンサート。ちょっと振り返ってみようかと思えます。
大きな絵本は、はらぺこあおむし、スイミー、おお

川崎市国際交流センター
「やさしい日本語」研修会 ~実践編~のお知らせ
1月27日(土)、2月17日(土) 12:30~14:30
●講師: 高 偉建(こういけん) (国際交流基金日本語国際センター専任講師)
●内容: 日本語の文章の中で本当に伝えなければならぬこと、取捨選択から本当に役立つ「やさしい日本語」への書き換えを実践してみましょう。
●対象者: 日本語で書かれていない川崎市の暮らしに必要な情報をやさしく表現し、外国人市民の理解を深める活動に ボランティアとして協力できる方。
●人数: 30名(先着順)
●申込方法: 電話・メール・FAXにて、お名前・電話番号・お住まいの市区町村をお伝えください。

川崎市生涯学習プラザ
第62回 (※前号で61回を60回、また文中に不要記述がありましたのでお詫言申し上げます。)
ランチタイムロビーコンサート
2018年1月16日(火) 12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定 / 料金: 無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート
●出演: デュオ・クマリン: 搞美里(サクソフォン)と宮野志織(ピアノ)
●予定曲目: フォーレ: ドリー組曲 ラヴェル: 天の三羽の鳥、他
●お問い合わせ: (公財)川崎市生涯学習財団 総務室企画情報係 ロビーコンサート担当 TEL 044-733-5811 E-mail: concert@kpal.or.jp 川崎市中原区今井南町28-41

音友レコード倶楽部 Jazz cafe
1月7日(日) / 1月21日(日) 午後1:30~午後4:30
イダナカ商店街・井田小学校正門前「イダカフェ」 参加費¥500 / 飲み物¥500円(クッキー付き)
孤高のピアニスト セロニアス・モンクを楽しむ
「ジャズ・レコード誕生100年」として盛り上がった2017年は、偉大なミュージシャンたちの生誕100周年とも重なっていました。
エラ・フィッツジェラルド、ディジー・ガレスピー、バディ・リッチ、そしてセロニアス・モンクなどのピック・スターたちです。
2018年1月のDJタイムは「セロニアス・モンク」を取り上げます。午後のひと時を良い音源で、時代を超えて輝き続ける個性派ピアニスト、モンクの世界にひたって見ませんか?

イダカフェ・コンサート
クールダウンJ. スペシャルプレゼンツ
New Year Jazz Live 星乃けい at ida cafe
日時: 2018年 1月19日(金) 19:00~
場所: 井田小正門前 イダカフェ
出演: 星乃けい(ヴォーカル) 永瀬 晋(ベースギター) 出村克明(パーカッション) 西郷正昭(キーボード)
「日本で最高水準のジャズ歌手」(若原洋三氏)と評されたボーカリスト、星乃けいが新春のida cafeに特別出演。ジャズってこんなに分かりやすく、色っぽく素敵なんだと、きっと感動することでしょう。ぜひ、この機会をお見逃しなく!

モトスミ Jazz Night

●モトスミJazz Night委員会HP http://motosumijazznight.org/ ●Tel: 050-5275-5740
フォレストコーヒー イダナカ商店街店&サイ通り店
中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)
ゆうき亭
プレーメン通り商店街、鉄板焼き
中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30 (LO 22:00) (休:火曜日)

音楽が好きなら、一緒に楽しみませんか? ボランティアスタッフ募集中!
レコードコンサートやライブイベント等、地元「元住吉」周辺での企画や運営と一緒に楽しみませんか? 年齢・性別・国籍問わず。ただし、あくまでもボランティア精神で。いっしょに「川崎・音楽のまち」を楽しみながら推進しましょう!
音楽好きな友の会 Music Enjoy Club
入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp 検索
090-9398-2889 (担当:塚田)

連載17 私とジャズ 松波陽介

音は繊細で、緻密なソロが非常に印象的。
もう一枚は、革命の価値、立ち位置を考える。

新年あけましておめでとうございます。また、新たな年となりました。今年でMマガジンで新年のご挨拶は二度目となりましたが、今後も楽しく読み応えのある記事を投稿していこうと思っておりますので、今後もおつきあいよろしくお願いいたします！

さて、前回はすっかり2017年最後の号ということのを失念してしまい、2017年の掘り出し物、出会った盤の紹介を忘れていましたので、今回その紹介をしていきたいと思います。

・Kamashi Washington 「Harmony of Difference」(画像①)

いやあ、2017年ギリギリで飛び込んで参りました。このアルバム。(表記はEPで

はあります) 前作では4枚組の「Epic」というアルバムを出したKamashi Washington ですが、彼は昨今のアメリカ界隈で様々なミュージシャンとセッションをするテナーサクソ奏者であります。実際に3年前、ブルーノート東京に彼の演奏を聴きにいききましたが、何と言っても体が大きく、テナーサクソがまるでおもちゃのように (Julian Edwin "Cannonball" Adderleyを彷彿させるような感じ) 見えるくらい体の大きさ(笑)で、軽々とサクソを吹いてしまうような反面、彼の音は繊細で、緻密なソロが非常に印象的でした。そんな彼の今作品のテーマは「多様性」と言うア

メリカの現在抱える問題に対してのアンサーのような形で、5つの楽章があり、最後にそのまとめとしての6楽章というような構成であります。僕自身は、踊ってもよし、しっかり聞いてもよし、といった印象で、ダンスホールもジャズ喫茶でも合う一枚であるな、というような印象でした。

・けもの「めたもるシティ」(画像②)

はい、これは、ジャズなのか全く分からないしきつとイダカフェでは流さない(流せない…?) アルバムではありません(笑) けものは一人ユニットのポップスバンドです。(例えるなら日本のバンドのコーネリアスをイメージしてもらえればと思います)

主にボーカルものですが、アーバンな感じでどこか昔のっぽいえんど、シュガーベイブ等を彷彿とされる雰囲気曲調でいて、しかしながら歌詞はヒップホップの韻を踏んだような新しい試みがあるというような印象を持ちました。季節は違いますが、夏のドライブなんかにかけてたら良いなあ、なんて思いつつ今は夏を心待ちに出来るような一枚であると思います。特にトラック7の「To-Kio (トキオ)」(決して変換を間違った訳ではありません。)は一聴の価値ありで、私が特に気に入っている歌詞は「銀座の街に革命が起こったらどのブランドを着て戦おうかな」ということです。何やら色々と考えさせられます、革命とファッションの関連性、革命の価値、立ち位置とは。

と、なんと二組しか紹介できませんでしたが、以上が2017年に発掘した音源たちの一部であります。あまりMマガジンではCDの紹介などは行ってきませんでしたが、意外と楽しかった(笑) また機会を見つけて紹介していきたいと思えます。Happy New Year!!



▲①Kamashi Washington「Harmony of Difference」



▲②けもの「めたもるシティ」

音友会 2017年11月音友会

第112回目の特集は
”2017年で生誕100年を迎えたプレーヤーたち”

昨年11月に紅葉を求めて信州、箱根とドライブに行きましたが、東京はまだこれからでした。元住吉に向かう途中に紅葉スポットとして知られている大井町線九品仏にある浄真寺へ立ち寄ってきましたが、残念なことに月末が見頃の様でした。

持ち寄りタイムでは、キャンボール・アダレイ、ジャッキー・マクグリーン、アルトゥーロ・サンドヴァル、ポール・スミスなど4人のアーティストの紹介がありました。マクリーンの「ONE STEP BEYOND」(写真①)は持ち寄られた方が「自分が誕生した年度の録音です」と語られていました。また演奏終了後に「トロンボーン奏者は? グレイシャン・モンカーですか?」と見事に当てられたトロンボーン愛好家が居られ驚きました。次にリー・モーガンの演奏でもお馴染みの曲「クリフォードの想い出」がアルバム・タイトルの「I Remember Clifford」を聴きましたが、キューバ出身のトロンベッター、アルトゥーロ・サンドヴァルのリーダー作で、ブラウニーへのオマージュがきちんと伝わってきました。最後は音質が良いと評判の

Outstanding Recordsレーベルを上げたポール・スミスのLP「Heavy Jazz」(写真②)を紹介していただきました。彼は元エラ・フィッツジェラルドの専属ピアニストとして知られていますが、自主レーベルを20枚ほど世に出されたとの説明を聴き貴重なアルバムを持参していただいたことに感謝いたします。また絵画好きの私にとりジャケットに描かれている雪景色が何とも素晴らしく見とれておりました。

DJタイム前半は「今度はCTIでも聴いてみようか?」と題したレコード・レーベルにスポットをあてた企画でした。「CTI」(Creed Taylor Issue)はジャズの名門、インパルスの創設者として、またヴァーヴ・レコードの名プロデューサーとしても知られるクリード・テイラーにより1967年に設立されたジャズ・レーベルで、自分の名前の頭文字をとったものと説明がありました。ロック、ソウルなどの要素を取り入れたジャズの新たな潮流を生み出したレーベルとして知られ、イージーリスニング・ジャズという分野を確立したとのネット記

事もありました。紹介はジョージ・ベンソン、スタンリー・タレンタイン、ケニー・バレル、アービー・グリーン、ジム・ホール、フレディ・ハバートの顔ぶれでしたが、いずれも軽快な聴きやすい音楽が多かったように感じましたケニーバレルが1枚だけCTIに残した「GOD BLESS THE CHILD」(写真③)から流れたサド・ジョーンズ作のバラード曲「ア・チャイルド・イズ・ボーン」が心に響きました。また今回作成されたレジェから全6曲中5曲のベース奏者がロン・カーターであり、70年代はこのレーベルで活躍されていたことを知りました。

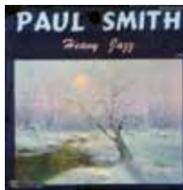
DJタイム後半は”2017年に生誕100年を迎えたプレーヤーたち”で、ディジー・ガレスピーとエラ・フィッツジェラルドの特集でした。ガレスピーとチャーリー・パーカーとの双頭コンビの歴史的アルバムが2枚、ソニー・スティット、スタン・ゲッツとの3管、ソニー・スティットとソニー・ロリンズとの3管演奏ものが2枚でした。1953年5月録音の「Jazz at Massey Hall」(写真④)はガレスピーと

パーカーが共演した最後のアルバムですが、神経サナトリウムから復帰したバド・パウエルの元気なピアノ、そしてチャールズ・ミンガスの力強いベースの響きも心地よい演奏でした。

それから、1952年から19年間ダウンビート誌批評家投票で連続NO1を獲得されたエラ・フィッツジェラルドの伸びのある歌声を4曲楽しむことができました。サッチモとのデュエット・アルバム「Ella & Louis」(写真⑤)では、オスカー・ピーターソン・トリオと同じ生誕100年を迎えたパディ・リッチが加わった布陣で「ムーンライト・イン・バーモント」を聴き、締めはエラのトレードマークである技巧的なスキャット唱法で「ハウ・ハイ・ザ・ムーン」を楽しみました。このガレスピーとエラの特集は計8枚のアルバムが使用されていましたが、DECCAが1枚だけで残り7枚はVerveでした。これらのゴージャスなプレーヤーの組み合わせは、プロデューサーのノーマン・グラントの手腕ならではの痛感いたしました。(K.T 記)



▲①ONE STEP BEYOND



▲②Heavy Jazz



▲③GOD BLESS THE CHILD



▲④Jazz at Massey Hall



▲⑤Ella & Louis

金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!

音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。元住吉駅西口下車、プレーメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前

★ ida cafe Friday Night ★

Cool Down-J.

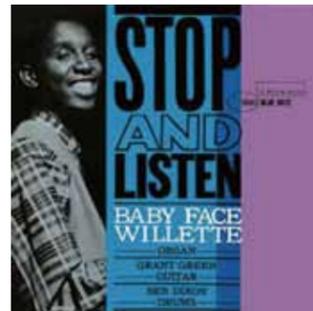
連載13 4ビートに首ったけ

地元マスターのジャズ談話 BIANCA店主 長谷部 徹

Hammondオルガンの名手!
 いったいどこに行ってしまったのか?



▲①FACE TO FACE



▲②STOP AND LISTEN



▲③BEHIND THE 8 BALL

カッコ良いアルバムを出したのに、それ1枚だったか、あるいは数枚出した後、何となく居なくなっちゃったミュージシャンっていますよね。どうしてなのかな? 才能が枯渇してしまったとか、大都会での生活が嫌になってしまったとか。あるいは営業や人付き合いが苦手だったのでしょか? いつも疑問に思っているのですが、永遠に解けない疑問ですね。今日はそんなミュージシャンのひとり、オルガン奏者のベビーフェイス・ウィレットをご紹介します。

さあ、今日は今までで一番黒いですよ。コテコテジャズファンの皆様、お待ちいたしました! ハモンドオルガンって最高ですよ! あの独特な重量感とドライブ感が表現できない。特にハモンドB-3は今でも人気のある貴重な楽器ですね。さて、今日ご紹介するベビーフェイス・ウィレットはブルー・ノートで2枚、その後シカゴのアーゴ・レーベルで2枚、合計4枚しかリーダー作を残していないらしいです。今日はそのうちの3枚を取り上げます。

まず1枚目は「FACE TO FACE」。ルー・ドナルドソンのレコーディングに参加してブルーノートデビューを飾ってから、わずか1週間後に録音した初リーダー作です。アルフレッド・ライオン(ブルーノートの創設者)に相当気に入られたのでしょうか。多分、ジミー・スミスの後継者として期待していたのでしょう。内容は文句無しです。R&Bをベースにしてソウルフルなプレイですが、コテコテになりきらず、少し都会的な洗練もあっていて、私のようなオルガン好きと言うよりもハードバップ好きにピッタリの濃さの演奏です。また、テナーのフレッドジャクソン、ギターのエラント・グリーンが抜群のサポートをしているのも見逃せません。お勧めは、まず1曲目「Swingin' At Sugar Ray's」。出だしからノリノリでスイングしまくりです。自然と身体が動いてしまうでしょう。次に4曲目「Face To Face」。ミディアムテンポのブルースですが、緊張感があってゾクゾクします。表題曲だけあって、印象的でカッコ良いです。そして1番のお勧めは5曲目「Somethin' Strange」。怪

しくて懐疑的なテーマはスパイ映画のサントラに使えるそうです。題名の通り「何か変だぞ? 怪しいな...」って雰囲気の曲です。オルガン、ギター、テナーと続くソロもそれぞれ盛り上がりつつも、聴きどころ満載の1曲になっています。また、全6曲中5曲がオリジナルだと言う所も才能を感じますね。2枚目はその4か月後に録音された「STOP AND LISTEN」。更にR&B色が強いアルバムです。私のお気に入り、まず1曲目「Willow Weep For Me」。ベースライン(オルガンのフットペダル)が印象的で独特のグルーブ感がある良いですよ。続いて4曲目「Stop And Listen」。テーマのメロディが抜群で、典型的なブルーノート4000番台のハードバップに仕上がっています。これは必聴です。次に5曲目「At Last」。エタ・ジェームスのスローバラード! 大好きな曲です。ちょっと余談ですが、ピヨンセのカバーもイカしてますよ! で、このまま順調にブルーノートでのキャリアを積んでいくのかと思ったら、ここでプツリと消えちゃうんですね。

そして3年後、地元のシカゴで2枚のアルバムを残しました。そのうちの1枚が「BEHIND THE 8 BALL」。このアルバムはニューヨーク時代と雰囲気が変わって、バリバリのソウルです。前記の2枚の方が完成度は高いと思うのですが、こっちの方がのびのびと楽しそうにプレイしているような気がします。大都会より地元が良かったのかな? コテコテ真黒ソウルジャズが好きな方はこちらをどうぞ! ベビーフェイス・ウィレットの足取りを追えるのはここまでです。この後は消息不明。麻薬で世界したと言う噂はありますが、ハッキリしないそうです。当時のミュージシャンは優れた楽曲を残しても、うまく行かないものだったのでしょか? それとも、それなりに楽しくやっていたのかな? 我々にできる事は、彼らの音楽を楽しみ、理解し、できる事なら次の世代に伝えていく事ですよ。どうか皆さんも聴いてみて下さい。ハモンドオルガンの魅力に取り憑かれますよ。

Essay 「くじら座」日記 牧野ケント

私の一曲

高い日差しが照りつける車内は座っているだけでも暑かった。夏が来る4秒前。目の前の交差点を曲がれば、そこが夏の始まりとの待ち合わせ場所だった。幼い頃、母親がカーステレオで流したスピッツのロビンソン。とても良い曲だから、と勧めた。美しいアルバムと、嫌味のない切ないメロディー。それは、初めて聴く私にも「おかしな」と声を掛けてくれるものだった。そこには一夏の記

憶が住んでいた。ふと、隣の席のあの子が頭に浮かんだ。恥ずかしそうに笑った横顔。放課後のことだ。溜め込んだ教科書で膨れた姿を見せまいと、彼女は鞆を机の下隠す。明日からいよいよ夏休みだ。私は彼女にこの曲を教えた。夏の始まりが、幼い私に初めての嫉妬心を芽生えさせていた。彼女が教室から出てゆく。「またね」と言う後ろ姿を見送り、明日から夏休みを何故かちょっと切

なく感じていた。私は今日もステージに立つ。そこから見える顔を眺めて、今度はどんな思い出を私の音楽にしまっただけか、その人にとっての大切をみずみずしいままお届けできたら良いと思う。歌い出す瞬間まで、私はいつもの思い出の始まりを演奏していた。



い。ふと観客席の一番後ろに目をやると、「またね」と笑った横顔が私の初恋に見えた。何故かもう少しだけ、イントロを奏でていたいと心で願った。

Essay Addicted to Guitar 永瀬 晋

金曜日だけの「Cool Down.J」は最高のライブハウス!!



皆さま初めまして。この度「音楽好きの友の会」にスタッフ参加しましたギタリストの永瀬晋(ナガセススム)です。木月伊勢町で「ソウリーヴミュージックスクール」の代表も務めておりま

す。昨年の「イダナカハロウィン」イベントで「くじら座」と一緒に演奏させていただきました。早々12月に毎週金曜イダカフェでopenのカフェラウンジ「Cool Down.J」のイベントで「投げ銭ライブ」を1ヶ月間企画・演奏しました。今回はジャズライブということで、ソロ弾き語りでジャズスタンダードの王道曲「Fly Me To The

Moon」「Moanin」「Girl From Ipanema」にオリジナルのインストを混ぜて演奏しました。イダカフェは高い天井、木の暖かみのある構造もあり、音の広がりがとても自然な空間で、気持ちよく演奏することが出来ました。ジャズ、クラシックなど色々なジャンルに合いそうなアコースティックなハウスだと感じました。今回はアンプ使用でしたが、ぜひ生音ライブも企画してみたいですね。ライブ終了後の「Cool Down.J」は通常営業

のレコードやCD鑑賞を楽しみながらお酒が飲むことができ、こちらも極上な音響を楽しむことができました。本当に音楽好きにはたまらない空間です。という訳で12月の毎週金曜は「Cool Down.J」で演奏しております。今後セトリもいろいろ変更して、大人からお子まで楽しめるアコースティックなライブ演奏をしますので、ぜひ皆さんお誘い合わせて「投げ銭ライブ」の生演奏を聴きにいらしてください!